



育



Continue

2021 年賀号

vol.19

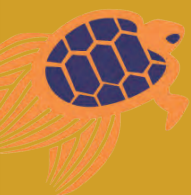
YUTACOLGY'S communication press



謹



賀

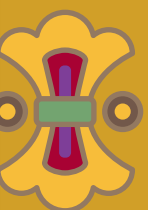


新



福

年



2021 ユタコロジー

女性活躍推進計画



新年あけましておめでとうございます

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました

本年も何卒よろしくお願い申し上げます

ユタコロジーが目指すもの

快適空間創造 × 環境改善の見える化 × SDGsでつながる



コロナによりVUCA(不安定・不確実・複雑・曖昧)時代が加速する中で、弊社にとってビルメンテナンスができることを深く広く追求し続けることが、お客様のお役に立つことなのだと確信しております。

ユタコロジーの

【快適空間創造】

弊社が仕事をさせていただいている場合は、人が集う場であり、その快適さは、キレイや清潔、安心、香り等、五感で感じ満たされるもので、かつ、多くの人が共感できるものであるべきだと考えます。

さらにビル自体寿命のあるものとする時、省エネ、空間有効利用、修繕など多岐にわたる視点を持ち、快適さ実現のお役に立ちたいと考えております。

ユタコロジーの

【環境改善の見える化】

お客様のビル、建物は、今後ますますBIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)やZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)など新たな考え方や手法、技術が導入されていくと予測されます。

その背景には環境問題やAI化がありますが、弊社の仕事もその効果や評価について、より分かりやすく見える化することが、お客様へ一層お役に立つことだと思います。



ユタコロジー2021年度年間テーマ
つなげて、つながる

令和3年
代表取締役 酒井秀京

ユタコロジーの

【SDGsでつながる】

弊社は2020年4月にSDGs取り組み宣言をいたしました。今期はISO14001を統合管理し、SBTやカーボン・オフセットにより、お客様のサプライチェーンとして社会貢献ができるようになります。

また、例えばBCP(事業継続計画)での弊社の機能の利用や、温室効果ガスの見える化、地域貢献としての施設活用等、SDGsでつながるご提案をさせていただけるよう準備を進めてまいります。

最後に、弊社は創立以来、日常清掃、定期清掃など、お客様が一番近くでクリーンクルーがお世話になり、今もユタコロジーの根っこであり、顔です。

しなやかな感性や柔軟性など、女性ならではの力が今、ビルメンテナンスにも求められています。

今年もクルーはじめ社員一同、引き続きのご指導、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021 ユタコロジー 女性活躍推進計画

今こそ活かそう!

ビルメンテナンスに女性力を

女性社員・クリーンクルー座談会

丁寧に美しく、速やかに。
クリーンクルーの想いは一つ
「現場をより良くしよう!」

斎藤 今日、念願だったユタコロジー・クリーンクルーの座談会が開催できうれしく思います。

皆さんが日頃どんな想いで仕事に当たっているのかなど、たくさん伝えてもらえたらと思っています。

まず、それぞれ一人ずつ仕事歴からお願いします。

立石 私は最初にお客様の店舗の清掃を10年間担当しました。今は多くのお客様が出入りする事務所やスペース等を清掃し、週に2日、マウスウォッシュ「クチピカ」の補充やメンテナンスでさまざまな営業所を回って、お困りごとなどお客様の声やご要望を伺っています。

以前、私の担当職場移動の最終日に、お客様の社員さんたちから花束をいただいた時はとても感激しました。今でも顔を見かけると声を掛けてくださったり、交流が続いてうれしいですね。

宮本 私も立石さん同様、お客様の店舗数カ所の清掃を担当し、現在はお子様が多く来場される店舗の清掃を担当しています。来年度、勤務歴としてはトータル10年になります。

どうしても、クリーンクルーは“掃除のおばちゃん”ととらえられがちなのですが、そんな中で世間話をさせていただいたり、お客様に大変良くしていただきました。

私も職場移動で慣れ親しんだお客様店舗を離れる際、花束を贈られたことがあり、すごく感激しました。

古瀬 私は始めてまだ1年4か月ですが、ある会社のお客様



クリーンクルー
古瀬直美

クリーンクルー
宮本いずみ

クリーンクルー
立石照美

CSV推進室マネージャー
斎藤由紀

のオフィスの役員室の清掃を担当させていただいています。

毎朝、気持ち良く安心してお仕事をさせていただいたりご利用いただけるよう、役員室や応接室、トイレなどをきれいに段取りよく清掃できるように、常に頭の中でシミュレーションをしながら動いています。

清掃を終えて退室する際は毎回、身につけているエプロンのポケットの中の備品の一つ一つまで確認し、お部屋に置き残しがないかまで、しっかり気を付けています。

斎藤 見えない部分やわずかな隙間も見逃さず、細部まで徹底したキレイの追求がユタコロジーの品質です。細部用の道具などを手作りしたり、使いやすいよう工夫をしている点も、私は頼もしく思います。



宮本さんは小さい子どもさんが好きで、今の職場の清掃をご自身から志願してくれましたね。

最近では、キッズルーム専用のクリーナーで清掃する際、「小さなお子様の動きを見て清掃したい」と提案してくれました。私が気づかない点に気づいてくれて、安心感がさらに増しましたよ。

宮本 清掃も大切ですが、道具の管理も私は常に大事なことでと思っています。

その点、立石さんはいつも道具をきちんと整えてくれますよね。うれしいですし、一緒に道具を使うクルーとしてとても気持ちがいいです。

齋藤 整理・整頓・清掃・清潔・躰という「5S」の徹底ですね。道具の扱い方や片づけ方にも、ユタコロジー品質があらわれると思います。



宮本さんはいつも現場のことをしっかり報告してくれます。古瀬さんはすごく頑張る屋さん。立石さんは広くものごとをとらえて、人と人との間を取りまとめるのが上手なタイプですね。

それぞれキャラクターは違うけれど、皆さん「現場をより良くしよう!」という意識が高く、思いやりや前向きさ、責任感など、人としての感性が共通していると思います。

それこそが、ユタコロジーの60年の歴史を支えていると私はいつも感じています。



清掃を通して見えてくるもの

齋藤 仕事を通して自分が成長したな、と思う点はあるですか？

宮本 忍耐力ができました。私は清掃の仕事とは別に、ほかの仕事もしています。その仕事と比較すると、清掃は地味で目立たず忍耐を要します。

でも、その分いろいろなものが見えるように感じます。特に気がつくのが人間性ですね。

立石 そうですね、清掃という仕事をしていると人の本質が見えますね。

宮本 職業や、自分の思い込みで人を判断してはいけないとわかるようになりました。とても勉強になります。

立石 若いからしっかりしていないのかな？と思っていたら、実は年配の人よりずっとしっかりしていたり。また逆の場合もありますね。

齋藤 ビルメンテナンスという事業の価値を、もっと上げていきたいという強い想いが、酒井社長にあり、私にもあります。特に社長はいつも「何

事にもストーリーが大切。個人も会社も誰もが、共感される体験ストーリーを必ず持っているはず。建物をきれいにすること、心をきれいにすること。それを一度にするのがビルメンテナンスだよ。」とおっしゃいますね。

宮本 昔、同じ清掃の仕事をする年配の女性から「まだ若いのに、どうして掃除婦をしているの?」と尋ねられたことがありました。

同じ仕事、同じ女性同士で、自分たち自身が仕事の価値を下げてしまっただけいけないと思う時があります。



五感を研ぎ澄まし、見えない部分にもキレイを求める

古瀬 ユタコロジーという会社のイメージを聞かれたら、私は必ず「女性!」と答えますね。それは、女性がいきいきと仕事に取り組める環境が感じられるからです。

例えば現場で困ったことや、こうしたらどうでしょうという提案を報告すると、齋藤さんが「じゃあ、こうしましょう」としっかり応えてくれて、いつも安心します。

齋藤 会社の方針を理解し、クリーンクルーさんの気持ちを理解し、なにより仕事を任せてくださるお客様に誠実に応えていく。この一連のつながりが、必ず誰の未来にとっても良い結果になっていくのだと思うんです。

クルーさんたちの、現場を良くしたいという心からの気持ち、プロフェッショナルの技術を、お客様に伝えていくことが私の仕事です。

「ユタコロジーのクルーを使っていただくと、ビル環境、職場環境がこのように変わりますよ。このように改善しますよ」

ということを、いつもお伝えしていますよ。

古瀬 お客様が普段使っていても見られていない部分を、私たちは常に意識して清掃しています。

例えば洗面やトイレの水の流れる音。少しの音の違いで、「あ、この音はいつもと違う。このままにしておくと詰まるかもしれない」と察して、原因を取り除いてトラブルを未然に防ぐよう心掛けています。

宮本 性格的に手は抜けません。絶対に抜けません。自分で納得できない時はやり直すこともあります。

古瀬 そうなんです。絶対にイヤ。

宮本 変な頑固さがある(笑)。

齋藤 それは女性力ですね。

女性ならではの、音やおいなど五感が敏感な面や、女性特有の責任感が活かされているのだと思いますね。

男性は養う責任感、女性は育てる責任感をもっていると聞いたことがあります。女性は、与えられたものを大切にしていこうという意識が強いのでしょうか。



プロフェッショナルなメンテナンスとマネジメントを2021年も

齋藤 最後に、皆さんの2021年の仕事の抱負や、目指す姿を聞かせてください。

古瀬 これまでよりももっと、お客様から「いつも助かるな」と思っていたきたいですね。

宮本 私も、これまで以上に手を抜くことなく、見えない部分の清掃まで頑張っていきたいです。

立石 私は一緒に仕事をする若いクルーに、自分自身がこの10年間で学んだ知識や技術を、自分なりの言葉でわかりやすく伝えていきたいなと思います。

齋藤 酒井社長はいつも「ユタコロジーの強みは社員。人でつくられる。だから経営理念が大事。」とおっしゃいます。今後ますますAIなどの技術が進歩しても、やはり基本は人

ありき。核は人だと思います。

クルーさんの、一貫した支える姿勢。これは人として、とても難しい姿勢だと私は思います。だからこそ、いきいきと輝いてほしいと思います。

クルーの皆さんはいつも徹底してアシスト側になり、そして現場の清掃環境や清掃工程を、一人ひとりがしっかりマネジメントしていますね。

素晴らしい女性力だと思いますし、ユタコロジーのまさに強みであり大きな価値です。

2021年もさらに、この女性力をお客様のビルメンテナンスに活かし、快適空間の創造に貢献していきましょう。

ユタコロジーは「あいち女性活躍促進宣言」をし、10月20日に受理され、女性の活躍促進宣言受理証明書(第7-1639号)を受け取りました。

ユタコロジー女性の活躍促進宣言

女性を積極的に採用し、女性の職域の拡大と管理職養成を目指します。

今後さらにビルメンテナンスに女性力が発揮されるよう、女性が活躍する機会、環境、体制の整備に努めてまいります。

ユタコロジー×SDGs プロジェクトレポート

2020年より始動したユタコロジーSDGsプロジェクト。
 全社員一人ひとりが自らの仕事をSDGsの17のゴールと結びつけながら、お客様のお役に立つSDGsを核とした企業を目指して行動しています。
 一般社団法人中部SDGs推進センター副代表理事 百瀬則子さん、環境カウンセラー加藤美奈さんを迎えての4回目の勉強会に続き、10月、11月はコア会議形式でユタコロジーSDGsのKGI(最終目標)を検討しました。

コア・コンピタンスを
 発揮し
 2030年最終目標
 達成へ

2020年
 8月27日

プロジェクト-IV SDGs社内勉強会④

コロナ禍で、社内別室3カ所に分かれ、ZOOMリモート形式で実施。

内容

- 1 2030年とはどんな世界にしたいか(地球環境、暮らし方、仕事、産業など)、チームごとに考え、発表しました。
- 2 「ユタコロジーが選ばれる理由」を考える(3チームでワークショップ、発表)。社員それぞれの仕事内容から見た、お客様のご要望やユタコロジーについて、さまざまな意見が発表されました。改めて自社や自身を振り返ることができました。



2020年
 10月15日

プロジェクト-V SDGs社内勉強会⑤・ SDGsコア会議

内容

- 1 酒井社長講義(経営理念・事業目的・2030年のユタコロジーについて)。
- 2 「ユタコロジーのコア・コンピタンスを考える」自社の強み、自分の強み、お客様から見た強みは何か。今後必要とされることは何か。意見を交換し発表を行いました。
- 3 コア会議(酒井社長・部門長参加)にて、ユタコロジーSDGsのKGI(最終目標)を検討しました。



内容

- 1 「ISOで目指すものと、SDGsの重要項目の関連性について考える」SDGs×ISOを事業計画として推進していくことを確認しました。
- 2 ユタコロジーSDGs 2030年KGIについて検討しました。

2020年
 11月23日

プロジェクト-IV SDGsコア会議

2020年の一年間にわたり行ったSDGs社内勉強会の成果を踏まえ、2021年1月、「ユタコロジーSDGs」について発表を予定しています。今後は「環境レポート・SDGsレポート(仮称)」を、必要に応じ発表していく予定です。



使用済みユニフォームをリサイクル

当社のクリーンクルー、業務部が使用したポロシャツ、ズボン等計218点のユニフォームを、古着リサイクル、マテリアルリサイクル、ケミカルリサイクル用として処理を行いました。

このユニフォームリサイクルプロジェクトは、当社の5S委員会にて実施。今後も継続して使用済みユニフォームのゴミ削減、再生化に取り組んでいきます。



ユタコロジーのSDGsの取り組みが 中部経済新聞で紹介されました

中部経済新聞「明日を拓く経営 東海で頑張る企業」(2020年10月20日付)、「やっとかめ」(2020年10月28日付)欄にて、ユタコロジーのSDGs経営推進の取り組みが記事として掲載されました。

これまでに取得していた環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001や、カーボンオフセットなどの環境に配慮した事業に加え、さらに他社との差別化としてSDGsの視点を重視している点を紹介。

全社員でSDGsプロジェクトを始動させ、継続している勉強会について、また2020年9月に、環境省から「SBT」と呼ばれる目標の設定を支援する企業に選ばれたことも報告されています。

ユタコロジーでは今後、温室効果ガスの排出量の見える化を推進し、具体的な削減プロセスや再生可能エネルギーの利用拡大など、2030年を見据えた温室効果ガス削減プランを作成、実行していきます。



「脱炭素チャレンジカップ2021」に 協賛しています

ユタコロジーは、世界の平均気温の上昇を産業革命前の2℃未満に抑え、脱炭素社会を構築することを目指し2021年2月9日に開催される「脱炭素チャレンジカップ2021」に協賛しています。

脱炭素社会づくり活動や地球温暖化防止に取り組む団体がエントリーするこのチャレンジカップは、様々なパートナーと出会う場の提供により、ネットワーク構築を促進、脱炭素かつ持続可能な地域づくりの加速化を図ります。

今回はオンラインでの開催です。各団体の意欲あふれるプレゼンテーションをぜひご覧ください。



脱炭素チャレンジカップ2021ウェブサイト <https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>

フレッシュマン がんばっています!

何事も素直に
全力で取り組みます!

FM事業部 野田 昇吾



- ① 現調や見積書の作成、作業の立ち合いなど行っています。
- ② 時間の管理です。作業前に準備することで効率上がり、スケジュール通り予定を進められるようになってきました。
- ③ 準備から業務完了まで3ヵ月をかけた大きな仕事に関わり、サポートをいただきながら無事終了できた時は達成感がありました。
- ④ 新規案件が獲得できるようがんばります!

2020年春に入社した新入社員たちは、まもなく入社から1年。それぞれのフィールドで「自分の役割は何か、お客様のために自分は何ができるか」という課題に向き合いながら毎日がんばっています。

彼らの“いま”と、2年目へ向けての“チャレンジ”を聞きました!

質問はコレ! ①私の仕事 ②ココが成長しました
③うれしかったこと ④2年目のチャレンジ

積極的に行動し、
場数を踏んでいきます!

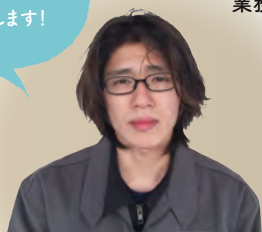
CSV推進室 横井 祐真



- ① 除菌剤、パーテーションや衛生商材等の製造と納品。
- ② 常に効率を考えて行動できるようになりました。手先も器用になり、生産スピードも向上しました。
- ③ 仕事を覚える中で、「顔つきが変わったね!」と皆さんに声を掛けていただけたことです。
- ④ これまでのお客様を大切に、そして、一から自分で何かを作り上げ仕事にしていきたいことが目標です!

アピールできる強みを
どんどん増やします!

業務部 高坂 雅徳



- ① 現場により役割は異なりますが、その日のメンバー、状況に合わせて担当を任せられます。
- ② 先輩や上司からの指示がなくても、自分から動けるようになってきました。
- ③ 作業終了後、最後にお客様から言われる「ありがとう」の言葉はとてもうれしいです。
- ④ 先輩たちからアドバイスをもらいながら、完璧に仕事をこなせる人になりたいです!

現場ではお客様から、社内では上司や先輩から、たくさんの教えや学びをいただきながら一歩ずつ成長しています。2021年もさらに前進できるようがんばってまいります。引き続きのご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

YUTACOLOGY

SDGs宣言

ユタコロジーは2020年4月1日、国際連合が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)に賛同し、持続可能な社会の実現に努めることを宣言いたしました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS